

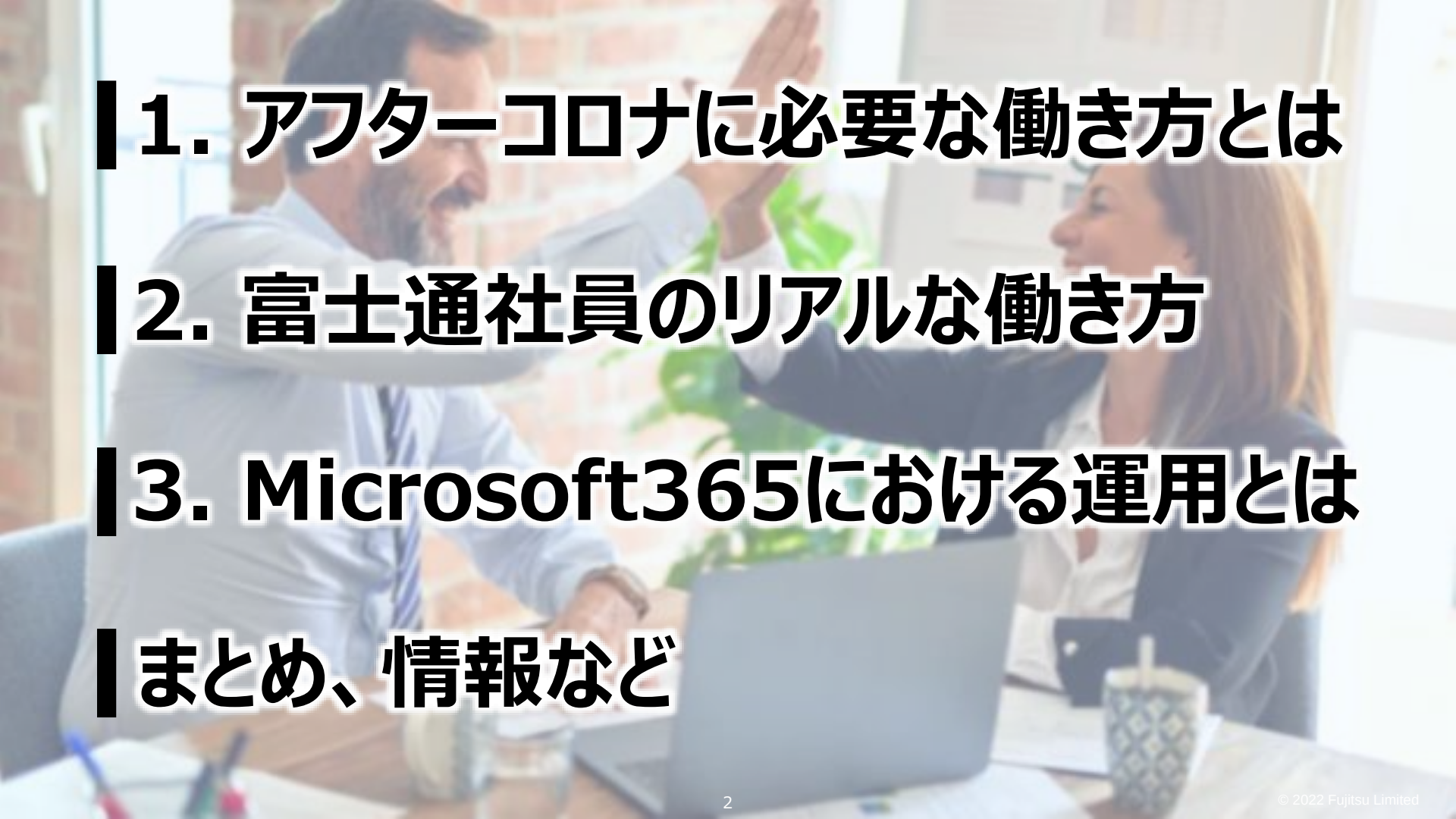
アフターコロナに向けた これからの時代に必要な働き方とは ～グローバルコミュニケーションサービスと M365による組織活性化術～

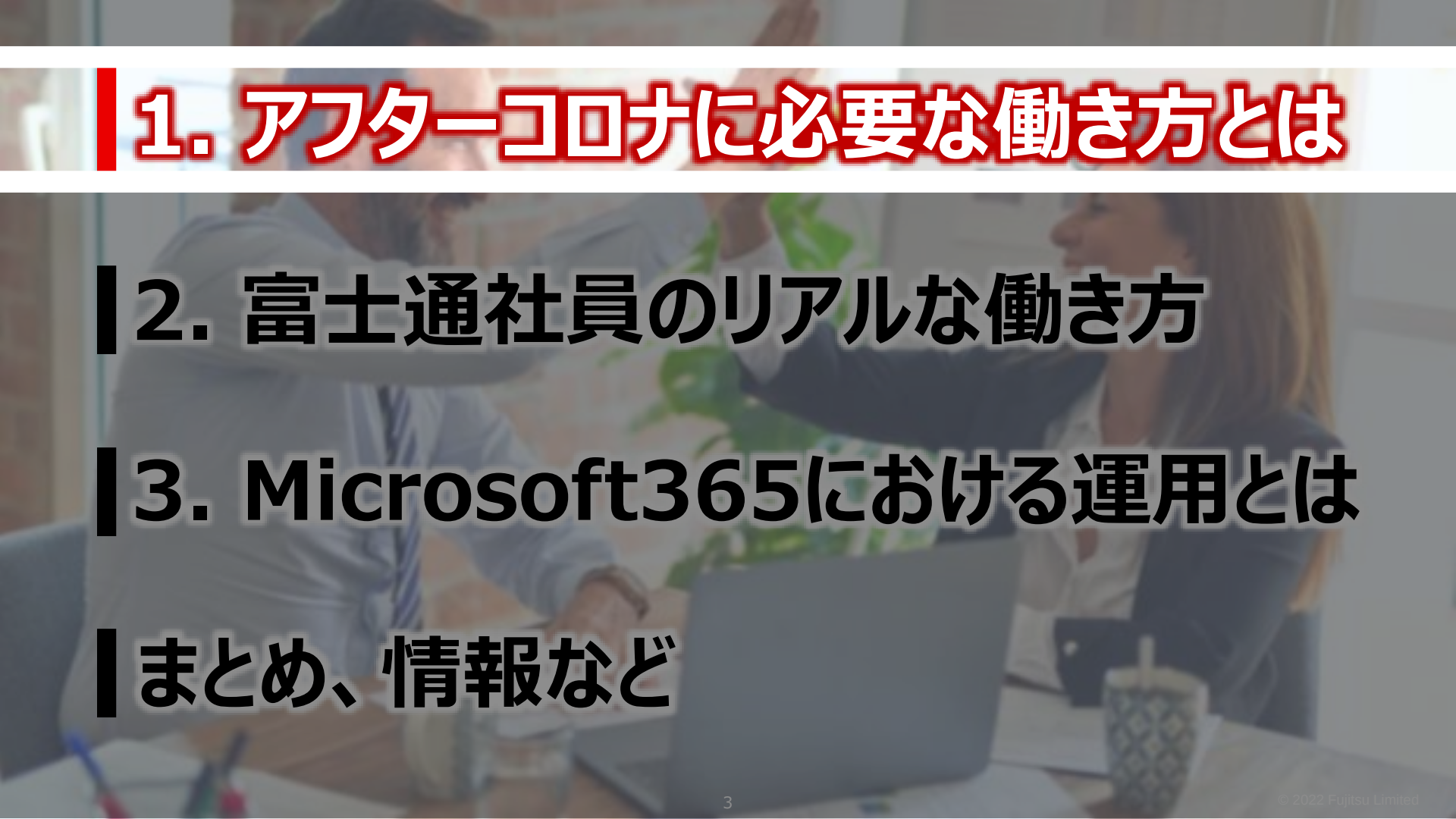
2022年6月14日

富士通株式会社



FUJITSU

- 
- 1. アフターコロナに必要な働き方とは
 - 2. 富士通社員のリアルな働き方
 - 3. Microsoft365における運用とは
 - まとめ、情報など



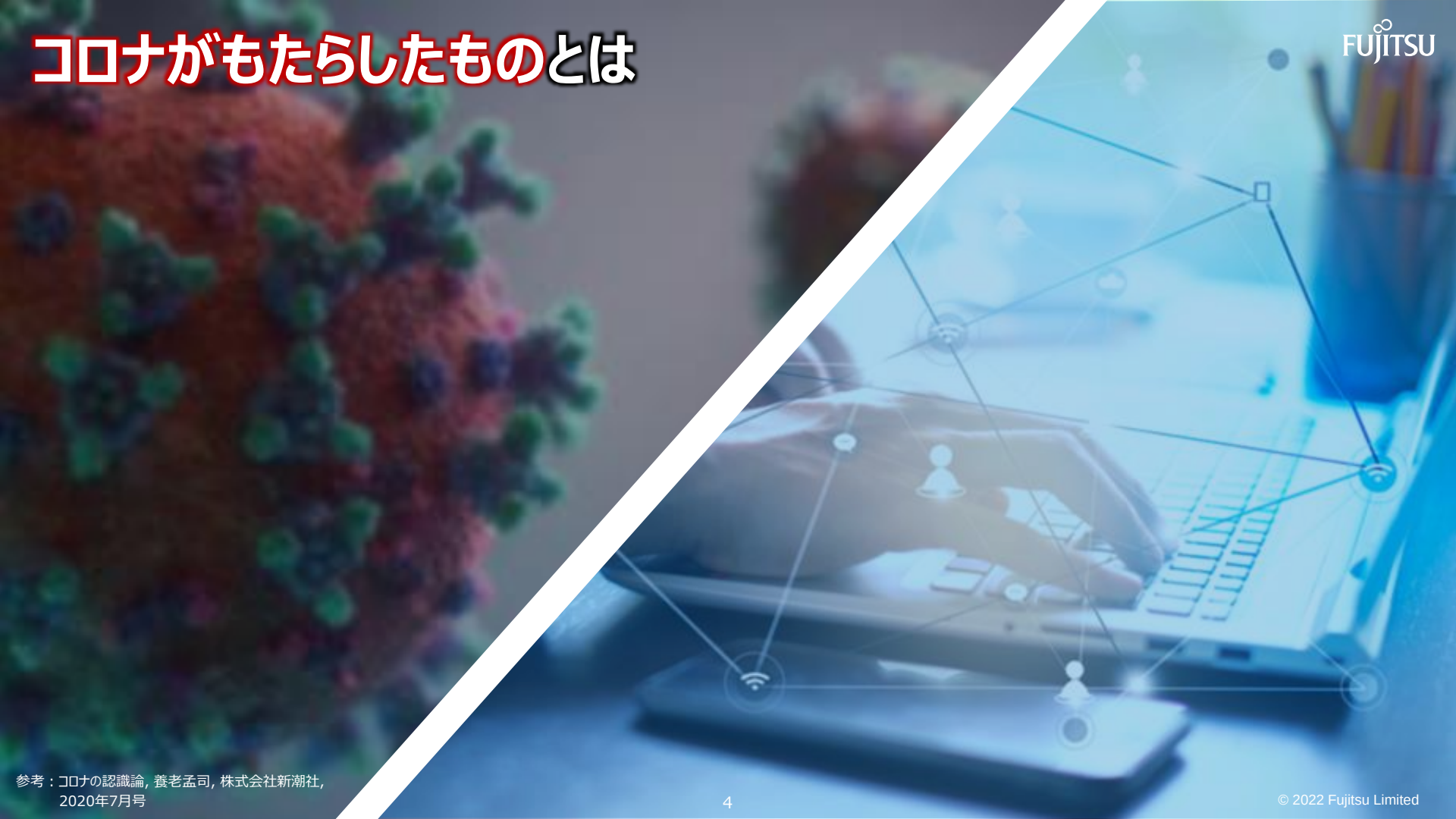
1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft365における運用とは

まとめ、情報など

コロナがもたらしたものは



幸福な働き方

多様性



幸福な働き方

多様性



幸福と収入の相関関係を考える

一人あたりGDP
(米ドル換算)



出展：世界の1人当たり名目GDP 国別ランキング・推移 (IMF) , GLOBAL NOTE, <https://www.globalnote.jp/post-1339.html>, 2021年10月
Suicide worldwide in 2019, WHO, <https://www.who.int/publications/i/item/9789240026643>, 2019年6月

なぜ**幸福**になれないのか



幸福な働き方

多様性



多様性とは何か



人の成長に多様化は必須

体験

脳

やること

人とは違うインプットができることこそが人としての成長に繋がり、
そこに企業が多様化を促進する本質的な理由がある

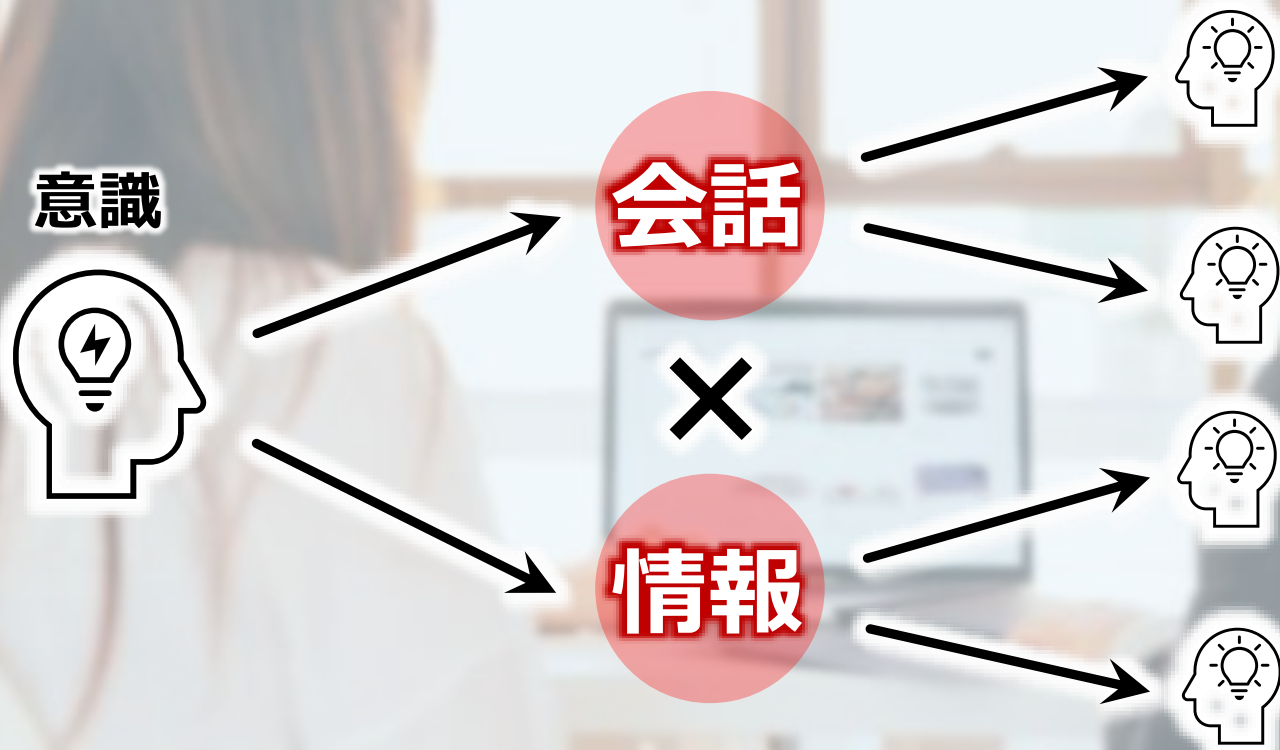
幸福な働き方

多様性



テレワークなどにより
どこでも働ける環境を構築することが必要

これからの時代のコミュニケーション



離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、連絡が取れる環境
物理的だけでなく、仮想的にも集まれる空間(コミュニティ)

離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、連絡が取れる環境
物理的だけでなく、仮想的にも集まれる空間(コミュニティ)

情報

作成物を滞りなく受け渡し、提供できる環境
格納したデータに対するアクセスを厳格にしたセキュアな環境

離れた場所での「コミュニケーション」の再考

オフィス

自宅

シェアードオフィス等

会話

必要な時に必要な人と、連絡が取れる環境
物理的だけでなく、仮想的にも集まれる空間(コミュニティ)

情報

作成物を滞りなく受け渡し、提供できる環境
格納したデータに対するアクセスを厳格にしたセキュアな環境

新しい働き方に対応した
コミュニケーションの実現が必要

1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft365における運用とは

まとめ、情報など

富士通社員の リアルな働き方

～Microsoft 365 フル活用のすすめ～

2022年6月14日

富士通株式会社 オファリング第二ビジネス部

佐藤 智美



新しい働き方

2022年1月28日現在

FUJITSU



オフィス



自宅

テレワーク継続率平均**80%**



シェアードオフィス

約**9,000**名/月



遠隔勤務
約**1,700**名

ワーケーション
@大分 @和歌山

副業



育児

介護

どの働き方でも
同じように
成果を出す



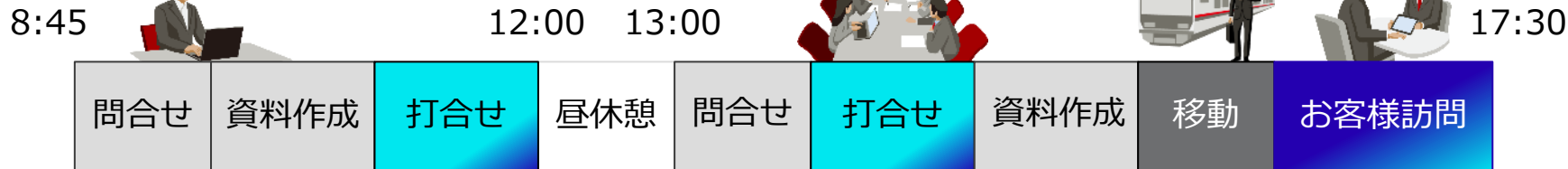
**①みな平等にコミュニケーションが取れる
環境を用意すること**

②みながその環境を使いこなすこと

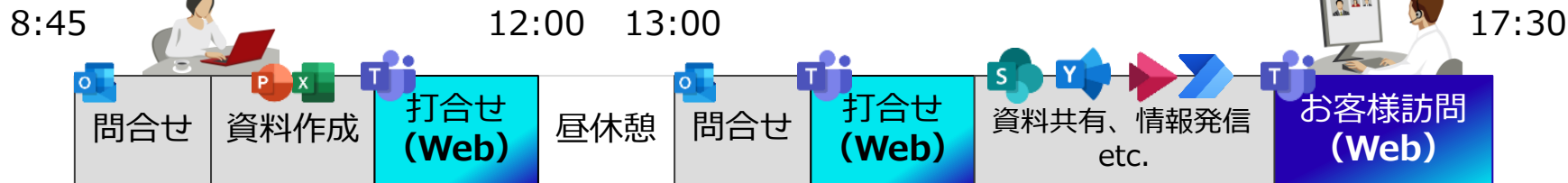
原則：在宅テレワーク

私のある日の働き方

オフィス



在宅テレワーク



Microsoft 365でオフィスと変わらない働き方を

業務報告（1週間1スレッド）



投影のみ

チーム作業（双方向のやり取り）



投影のみ

資料のレビュー（遠慮しない）



投影のみ



社内報



コミュニティ

投影のみ



動画配信



ワークフロー

投影のみ



多要素認証



モバイル
デバイス管理



文書保護

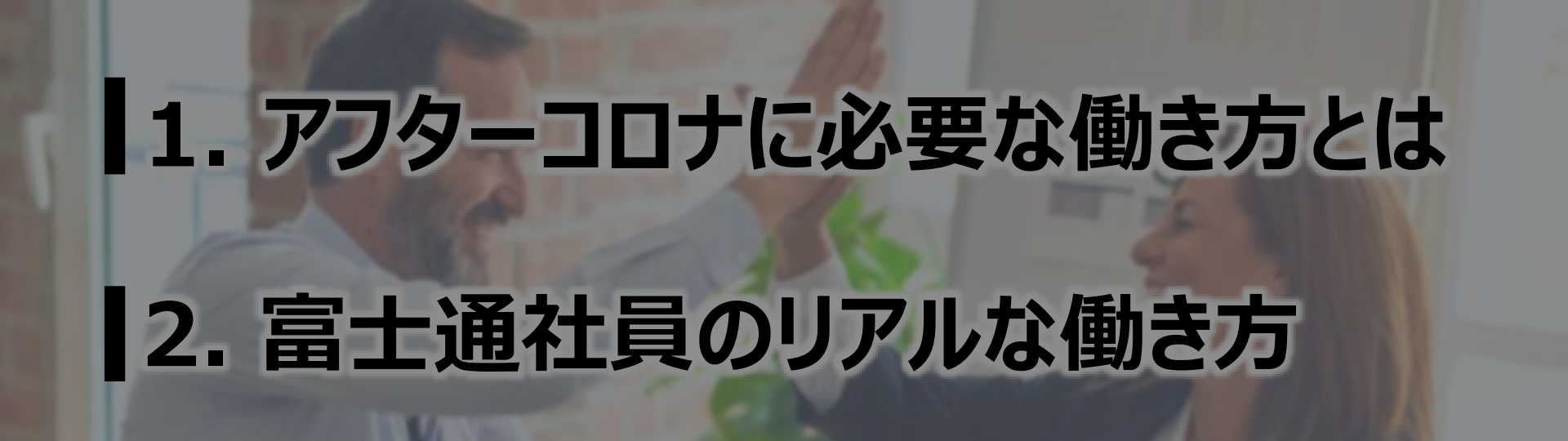
投影のみ

**①みな平等にコミュニケーションが取れる
環境を用意すること**

②みながその環境を使いこなすこと

- ❑ メールサーバの入れ替えだったので、正直そこまでは…
- ❑ 入れたは良いものの、実はあまり使われていないんです…
- ❑ セキュリティの機能もあるんですね…

「使いこなす」ヒントは
3章へ



1. アフターコロナに必要な働き方とは

2. 富士通社員のリアルな働き方

3. Microsoft365における運用とは



まとめ、情報など

Microsoft365における 運用とは

2022年6月14日

富士通株式会社

コミュニケーションビジネス部

二谷大介

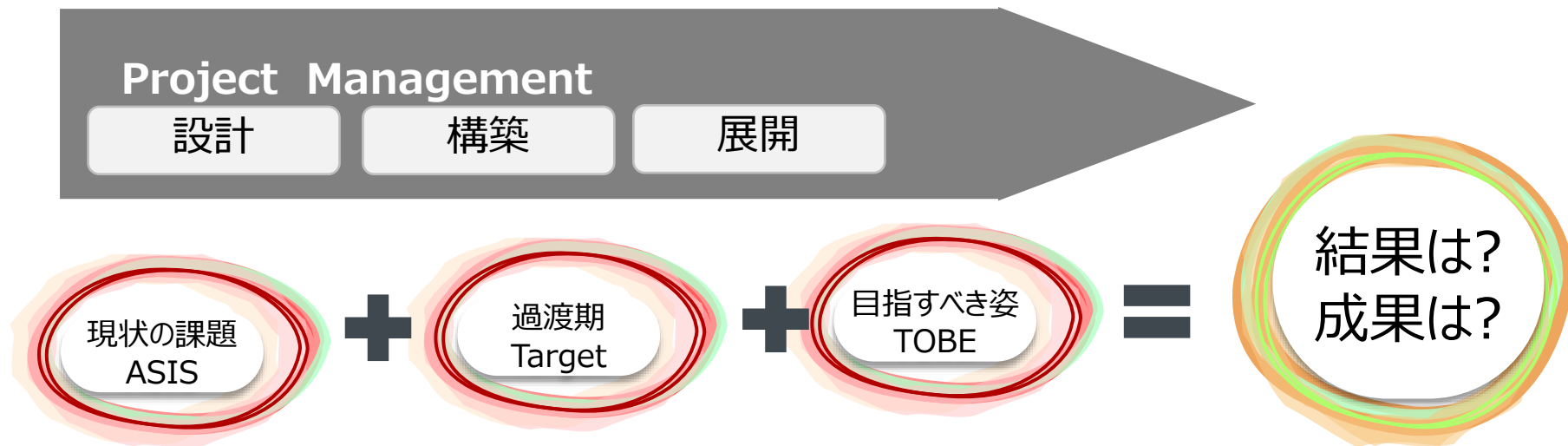


Microsoft 365 導入後の悩み



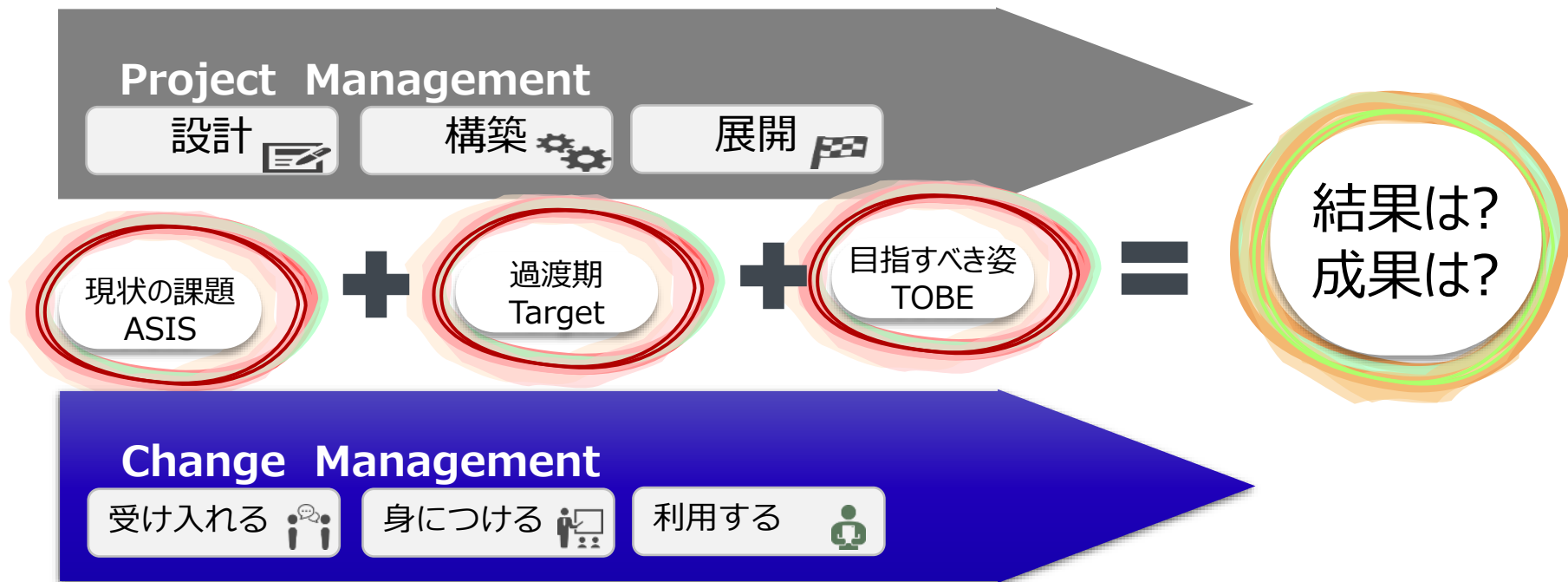
Microsoft 365の利活用、利用拡大は順調に進んでいますか？

これまでの『システム導入』プロジェクト



期限切れがトリガーとなり
現行環境の『更新』を目標とし、システムリリースがゴール

これからの『システム公開』プロジェクト



行動やトレンドの変化がトリガー

『新たな働きかへの適用』を目標とし、ユーザへの定着がゴール

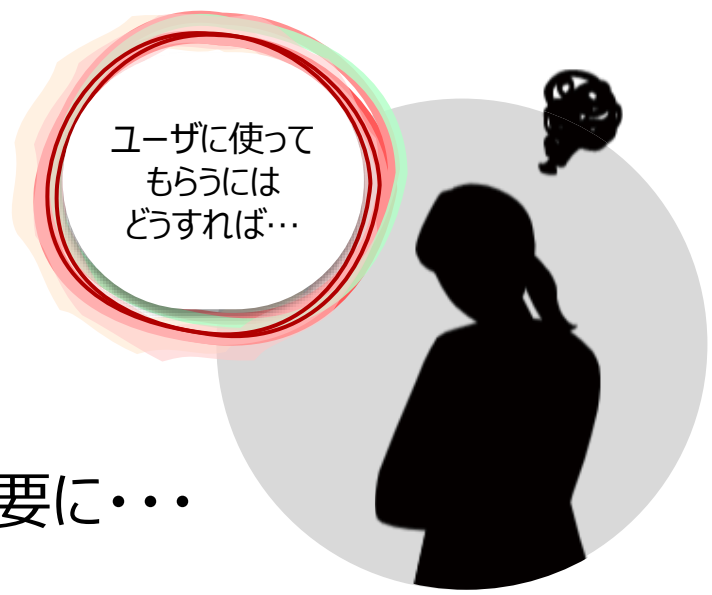
“どうやって使ってもらうか？”を考えることは

これからの**IT部門の業務の中心**に

更に“使える”ではなく、

必要となる機能を選別し

“使いこなす”ことが重要に…



ユーザに使って
もらうには
どうすれば…

Microsoft 365で実現できること



従来の機能であり、一般的によく使われるメインのツール群

コミュニケーション基盤

	チームコラボレーション –Teams–
	ビジネスメール –Exchange Online–
	ファイル共有/情報共有 –SharePoint Online–
	社内SNS –Yammer–

OS/Office

	PC・タブレットOS –Windows10 License–
	Office (クライアント) –Apps for Enterprise–
	Office (Webブラウザ) –Office Online(旧称)–
	ビジネスメール –Outlook–
	個人ファイル共有 –OneDrive for Business–

Microsoft 365は、継続的に新機能の追加や、機能アップデートがされており、購入したライセンスに応じた様々なツールを利用することができます。



比較的新しい機能であり、一般的にまだまだ活用が進んでいないツール群

業務効率化ツール

	タスク管理 –Planner–
	社内ストリーミング配信 –Stream–
	アンケート –Forms–
	アプリ開発 –Power Apps–
	AI/Bot開発 –Power Virtual Agent–
	自動ワークフロー開発 –Power Automate–
	データ分析 –Power BI–

セキュリティツール

	ID保護・アクセス管理 –Azure Active Directory–
	侵害阻止 –Azure Sentinel– –Microsoft 365 Defender– – Azure Defender–
	アプリ・リソース保護 –Azure Security Center– –Azure Defender– –Microsoft Cloud App Security– –GitHub–
	機密データ保護・ガバナンス –Microsoft Information Protection– –Azure Information Protection–
	リスク特定・修復 –Insider リスク ポリシー– –コミュニケーションコンプライアンスポリシー– –情報バリアポリシー– –Customer Lockbox– –特権アクセス管理– –コンプライアンスセンター–
	シンプルなコンプライアンス管理 –コンプライアンスマネージャー– –Advanced eDiscovery–

Microsoft 365ツールをどれだけ使いこなしているでしょうか？

【ご参考】お客様での移行パス

Microsoft 365 E5 の各機能を活用し、新たなインフラを構築したケース

移行前	移行先	考え方
メール (WebMailサービス)	Exchange Online	基本製品で置き換え
ビジネスチャット(LINE WORKS)	Teams	Teamsに統合し、LINE WORKSを解約
Web会議(WebEx, Zoom)	Teams	Teamsに統合し、他製品は解約
会議室・設備予約(グループウェア)	Exchange Online	基本機能で置き換え。今後会議室の入退室管理を導入予定
承認ワークフロー(グループウェア)	Power Apps + Power Automate	簡易WFはすべてPower Toolに置き換え
e-Learning(パッケージ製品)	PowerApps + Stream + Forms	パッケージは廃止し、業務効率化ツールの組み合わせで実現
全社ポータル(グループウェア)	SharePoint Online	基本機能で置き換える
行き先管理(グループウェア)	SharePoint Online + アドインツール	基本機能と最低限のアドインとの組み合わせ
掲示板(グループウェア)	Teams + OneNote	TeamsとOneNoteの仕組みに置き換え
ドキュメントライブラリ(グループウェア)	SharePoint Online	基本機能で置き換える
タスク進捗管理(パッケージ製品)	Planner	業務効率化ツールに業務を置き換える
アンケート(パッケージ製品)	Forms	業務効率化ツールに業務を置き換える
ドキュメント保護(暗号化製品)	Azure Information Protection	AIPの機能に機能を置き換えて実現
ウイルス対策(パッケージ製品)	Defender for End Point / Defender for O365	ウイルス対策をMicrosoft製品に統合し、パッケージを廃し
モバイル接続(パッケージ製品)	Intune + Azure ActiveDirectory	Microsoft製品に統合し、パッケージを廃し
メールアーカイブ(メール付帯サービス)	Exchange Online Archiving	基本機能に置き換え

- 従来の監視、オペレーションといった運用作業以外に**利活用促進が重要**
- クラウド製品では、**常に機能の進化**が行われている。これと並行して、**現状の把握・可視化が必要**。
- 機能説明の教育だけではユーザの利用は進まない。**ユーザに使わせるために何をするのか**を、同じ目線で検討。



Microsoft365運用サービスの一例

利活用促進に必要となる情報提供を中心に、継続的な活用を支援させていただきます。

窓口 (Concierge)



Reporting

利用状況の可視化



M365の利用状況をダッシュボードを利用して定期的にモニタリングします。

備考

ダッシュボード利用にはPower BIライセンスが必要です。

アップデート情報報告



M365アップデート情報について情報提供を実施します。

備考

M365ご契約ライセンス数によって見積を実施します。

利用促進Tips提供



お客様のお持ちのライセンス等で、さらなる利活用を促進する方法や手段をTipsとして提供

備考

各種ツール類の有償作業を含め改善提案で支援いたします。

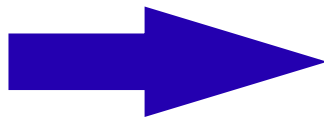
【事例】利活用を加速する手段(1/2)

オフィスワークから始まるDX

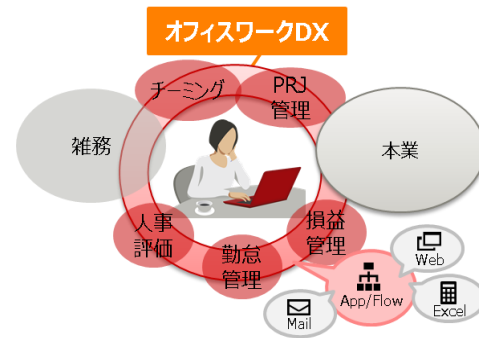
各業務でフローがバラバラで煩雑



自動化、アプリ化することで時間に余裕を！
できた余裕でクリエイティブにDX！



共通フローを自動化/アプリへ集約



DXに向かう具体的な行動-ローコード-

ローコードを使えば…
30分のアプリ開発で
定常業務が**1/2時間**に！

事務処理がスムーズになった！
これまでできなかった情報収集に
もっと時間が使える！



【事例】利活用を加速する手段(2/2)

使うアプリは自分たちで作る

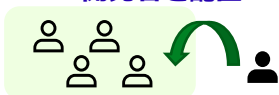
よりスピード感をもって業務改善を行うには、**誰かが作ってくれる**のを待つのではなく、自分たちが使いたいアプリを**自分たちで開発**していくことが重要です。

01

開発者の役割の変化

開発者ディアスポラのトレンド

ビジネス部門へ
開発者を配置



ForresterResearch 2020

02

ユーザーの興味

Power Appsセミナーへ

の応募数



平均応募数の
6倍

富士通株式会社2021

03

市民開発の実施状況

「エンドユーザーが開発したアプリケーションがある」と答えたエンドユーザー



6割超

ガートナージャパン2021

ユーザー開発が行える環境
作りを富士通が支援しま
す！



【ご参考】利活用推進パック

- 利活用推進パックは、利用しているコミュニケーション・コラボレーションツールの利用を促進し、生産性を高めたいお客様に最適なパックです。
- お客様の利活用目標の計画を策定し、継続的にモニタリングを行うことで、利用率向上を目指します。

こんなお悩みを
解決できます！

Before

Microsoft365を導入したが利活用状況が見えない・進まない



- ✓ Microsoft365を導入したが、Web会議等特定の機能しか利用されない
- ✓ 導入にフォーカスしてしまったため、具体的な将来の目標が立っていない
- ✓ 導入時にKPIを立てたが、それらを測れておらず、達成状況がわからない
- ✓ 利活用状況が見えない為、利用率を向上させる施策の検討ができない



After

利活用状況を把握し、利用率向上の施策を打つことが可能



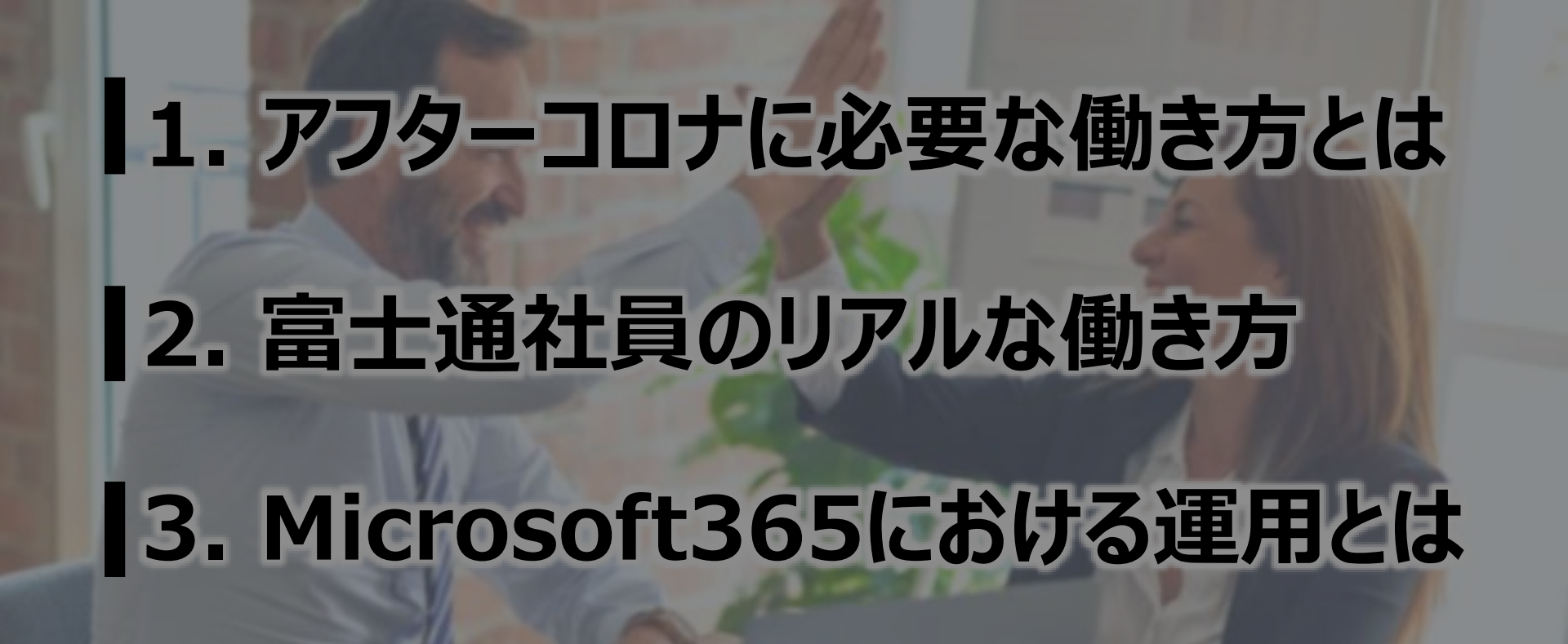
- Microsoft365の様々な機能を利用し業務を効率化、生産性向上
- 将来の目標を明確化し、導入効果をデジタルに確認可能
- 継続的なモニタリングにより、状況に合わせた最適な施策を実施

利活用推進パックの実施内容



留意事項

- Microsoft365等の環境構築はサービスに含まれません。
- 既にMicrosoft365の基本的な機能（Exchange Online, SharePoint Online, Microsoft Teams）が導入されていることが前提です。
- ローコード開発はオプションです。

- 
- 1. アフターコロナに必要な働き方とは
 - 2. 富士通社員のリアルな働き方
 - 3. Microsoft365における運用とは

まとめ、情報など



**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

より良い働き方を追求し、変化することは必須

**新型コロナにより、人類そして日本は
新たなステージへ進化しつつあります**

より良い働き方を追求し、変化することは必須

**これまでの運用含め改善することにより
新たなコミュニケーションを実現しましょう！**

新情報を盛り込んだセミナーの専用Webを公開



新しい世の中の情報を盛り込んだ
セミナーの専用Webを
新たに立ち上げました。

ぜひこちらから有用セミナーを
ご確認ください。

URLはこちら

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/security/secure/seminar/>

ご相談窓口

contact-fwls_promo@cs.jp.fujitsu.com

アンケート

https://fujitsuvoice.eu.qualtrics.com/jfe/form/SV_emI3tKEjaXWfBAi



アフターコロナに向けたこれからの時代に必要な働き方とは
～グローバルコミュニケーションサービスと M365による組織活性化術～

この度はWebセミナーにご参加頂き、誠にありがとうございました。

ご多用中恐れ入りますが、アンケートご記入へのご協力よろしくお願い致します。

→

Q/Aを受け付けます



Thank you

